

成東高校同窓会報

人の魅力



同窓会長
清水新次
(高15回)

同窓会の総会などで先輩会員にお会いする機会がありますが、何とも言えぬ風格や魅力を備えた方々の多いのにも驚かされませぬ。風雪に耐え、幾多の試練、苦難を乗り越えてきた自信の現れなのでしょう。

「魅力」について辞書を繙くと「人の心を強くとらえ、虜にさせるようなすばらしさ」とあり、用法も、魅力あるまちづくり、妖しい魅力など様々です。

何をやらせてもそつなくこなすが、好かれぬ人も居れば、どこか抜けているが、かわいげがあり、えもいえぬ魅力のある人も居ます。その人なりの魅力の一つでも身に付けた人は、それだけでその人自身を生かすと同時に他人に喜

びを与え、他人をも生かすことになるでしょう。

ところで真に魅力ある人とはどのような人と言うのでしょうか。人の感ずる魅力は個々人により多様で一律に定義することは困難ですが、いわゆるアイドル歌手や俳優などは外形こそ魅力的かもしれませんが、真に魅力ある人とは必ずしも言い難いのではないかと思うのです。

いま、わたしたちの周囲や友人知人などに何となく人が集まり、多くの人から尊敬され、頼りにされているような人が居ると思えます。人が集まる要因はいろいろありますが、ひとつはそこで何か利益を得ることができるといふ場合でしょう。

ある人がたいした権限も持たず、大した物的利益を与えることも、宗教家等でもなく、それでいて、多く人が集まるとなると、その人は「真に魅力ある人」といえるかも知れません。

そのような人は、おそらく次の要件のいくつかを満たしているのではないのでしょうか。

①自分の人生や仕事に誇りと哲

学を持つている。

②物事を的確に捌く聡明さと常に工夫する知恵と決断する勇氣を持つている。

③染み入る優しさと思いやりを持つている。

④みずみずしい感覚を持ち、明るくユーモアにあふれ、とほけた味わいと周囲に笑いがあ

⑤どんなことにも興味や面白さを見いだすことができ、エネルギーギッシュである。

何もかも全て備えた完璧な人は居ないでしょう。しかし、人は必ず何らかの魅力を持つており、その魅力を生かすことができることがとても大切だと思います。

まだまだ寒い日が続くようですが、四月二日(土)には恒例の観櫻会の開催が予定されています。九十九本の桜の花の下で多くの会員が再会し、互いの魅力の確認と交流を通じて同窓会員としての絆をより強固にされることを願っています。

会員の皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を心からお祈り致します。



漫画家 立原あゆみ氏作品「二年夏」 ペンネーム 立原あゆみ氏より寄贈(本名 市川洋一氏 高17回)

第6号

2016年3月1日

発行
成東九十九同窓会

編集責任者
畑戸輝夫(高3回)

印刷 (株)サラト

学校規模

クラス数 22クラス
(1・2年7クラス 3年8クラス)
生徒数 合計893名
男子 467名(52.3%)
女子 426名(47.7%)
卒業生数
合計 28,687名
旧制中学校卒 4,620名
併設中学校卒 545名
新制高等学校卒 23,522名

(平成27年12月1日現在)

講師略歴

伊庭みか子 (いばみかこ) 氏

同時通訳、翻訳者

1973年 成東高校卒業 (高二五回・現在の演劇部を創設)
獨協大学外国語学部卒業

1981年以降、GATT・WTOをはじめとする様々な国際会議で、フリーの同時通訳・翻訳者、コーディネーターとして活躍。

んです。ホウキがないので、私たちが事務方が手で拾ったんです。だれにもいえなかったんですが、日本人が帰った後吸い殻だらけだというのが、恥ずかしかったです。その後も、国際的な出来事の節目節目に立ち会わせていただけたわけで、幸運であったなあと、振り返ると思います。

【通訳の苦労】 同時通訳というと、スーツにハイヒールでツツン歩くとイメージですが、実際には、目に触れないブースに詰める仕事ですから、リラックスして集中できるようにゴムパンツにラフな格好ですね。マラソン選手が30km過ぎたらドリンクにこだわるように、朝から詰めている通訳も午後3時過ぎから勝負です。その時、チョコレートを食べるか、饅頭を食べるかが勝負なんです。

通訳をしていると、困ることがあります。

こちらの方言で「青なじみ」ということばがあるでしょう。あれを標準語で「青あざ」「青たん」と言い換えると、「違う！これは青なじみよ」といいたくなるんですが、国際関係用語でも英語でしか表現できないものを、むりやり日本語にしているものがあるんです。

昔から、そして今でも困っているのが「軍縮」。日本語では「軍備を縮小する」という意味ですよね。英語ではdsam、つまり「武装解除」なんです。ちよつと違いますが、でも、これは80年代に外務省が決めた訳語ですから、勝手に「軍備解除」と訳せないんです。「ああ違つな」と思います。

それから、「グローバルゼーション (globalization)」みたいな言ってますよね？でも、なぜ前からあった「国際化 (internationalization)」を使わないで「inter」は「間」って意味です。「インターハイ」は「interhighschool」、高校と高校の間とこの意味です。Internationalは、国と国との間、「国」がちゃんとあって、国と国とが交流することです。globalizationは「地球一本化」、国はいらなくなってことです。

一方、「グローバルイズム (globalism)」は、まったく反対の主張で、「地球主義」ということです。地球の多様性を認めながら、みんな絆を持つてつながろう

とという主張です。

ところが、日本ではグローバルゼーションとグローバルイズムが混同されています。通訳としては本当に困ります。

【国際会議について】 さて、国際会議の裏話をというご要望がありましたので……。WTO (GATT) はどこにいつちやっつたんでしょうか？ 90年〜92年頃まで騒いでいましたよね。米輸入自由化反対なんていって、GATTだ、ウルグアイラウンドだ、WTOだつてね。あれだけ騒いでもWTOはまだありませんよ。けれど、基本的に機能していない。WTOで最後のちゃんとした会議が香港2005。私もその時いました。WTO (GATT) の会議にほぼ関係してききましたので。

なぜ機能しないか。加盟国が多様すぎるからです。現在160カ国以上が加盟しているWTOですが、最貧国から一党独裁国家まで多様です。合意に達して機能できるわけがありません。

ですから、今世紀になってからは、各国はFTAでの二国間の自由貿易とか、TPPのような地域毎の自由貿易協定に躍起になって取り組むようになりました。

誰が交渉をしているのか。日本では役所が交渉の窓口です。何を交渉しているのか。基本的には2つだけです。関税と、輸入基準です。

交渉は、たとえば米の輸入で言えば、米を輸出入している当事者国だけが合意のために話し合っています。

ところが、これが他の国にも影響を与えるんです。たとえばメキシコのトウモロコシ。日本の米同様、主食です。

ウルグアイラウンドの結果、メキシコは、飼料用のトウモロコシを輸入させられ、食料用トウモロコシもダンピングさせられて、メキシコのトウモロコシ農家の6割が離農しました。カナダの乳製品、オーストラリアの牛肉も同様です。

主食というのは、国家貿易品目といって国がある程度管理するという元々の合意がありました。だから、日本の米が頑張つて譲歩できないという前例を作つてくれなしかと期待していた国が結構あつたんです。韓国、フィリピン、オランダ等がそうでした。

ところが、最終的には日本は自らミニマムアクセスという譲歩案を出して、譲歩してしまつたんです。国内では、95年、GATTから最終譲歩案を突きつけられたと国会で言っていたのですが、その案の原文は外務省が事前にジュネーブに提出したものでした。海外の新聞は「はじまつた。日本のコメ、大歌舞伎、立ち回り」と書きました。不思議の国ニッポンです。

それにしても、なぜフリーラン

スの私がいろいろ知っているか、不思議でしょう。私は政治的にはノンポリでしたが、いいと思うことはやるようにしています。昔日教組の大会で、平和教育の資料に感動したので、旧知の文部科学省の部長にあげたこともあります。日本なら、「どこの馬の骨だ」となるでしょう？ところが、国際組織では「情報を是非ください。何か一緒に出来ませんか」と来るわけです。

そんな状況・時代でしたので、いろんな事情を知ることが出来る訳です。

【貿易交渉について】 貿易交渉は、終わりのない将棋のようなものです。誰の駒を動かしているか判らなくなります。生きてる人間はどうなつていくのといいたいですね。関税0%つて言つてましているということじゃないんでしょうか。

旧GATT11条では、国家にとつて不可欠で重要な品目であつて、国が生産を管理・保護している商品は、貿易交渉の対象にならないとされていました。

今のTPPはビジネス一辺倒で、食糧安保の意味がなくなつてしまいました。食料・生活・軍事・仕事、すべて安全保障ではないのか？ちよつと変なんじゃないのと思つている今日この頃です。

鈴木孝政氏

昭和29年生まれ。

蓮沼小学校、蓮沼中学校から成東高校へ進学。1年秋からエース。2年時、東関東大会準決勝進出。翌年、春季関東大会で準優勝。同夏は、県予選準決勝進出。

1972年、中日ドラゴンズ（ドラフト1位）入団。後、リリーフエースとして活躍。75年、最多セーブ投手、76年、最優秀防御率・最優秀救援投手。

引退後は、解説者として活躍。中日のコーチ、二軍監督を歴任している。

成高に行っ

今回総会のご案内を差し上げた高25回は、今年同級生のシンボルであり、わが成東高校の誇り輩ですが、恐れ多くて、当時は近寄ることさえ話していただいた中から、母校に対する深い愛

いと(笑)。

——千葉県民ならみんなそうですよね。

それでも、成高や銚子商業などが、誘いに来てくれましたね。

【奥様とのなれそめ】

——実は(奥様の母校である)東金高校のOGから、奥様とのなれそめを聞いてこいと厳命されてまして、お差し支えなければ……。

えっ！(笑)。成高で野球が終わった後、皆の進路も決まり、僕もプロに行くことになった頃、サードの湯浅君の九十九里町にある家で、お呼ばれの会があった。そこに湯浅君のいとこにあって、そこに女房が手伝いに来ていたんです。で、「いいな、可愛いな」と。あの時同席した連中は皆注目していたと思います。今だから笑い話として話せますがね。

そして、向こうから手紙が来たんです。ドラゴンズの合宿所に。別にラブレターじゃなく、頑張ってくださいみたいな内容でしたが、こつちが勝手に勘違いして「おおっ」と。文通が始まったんです。今でも両方の手紙を取ってあります。宝物です。なにしろ、カッコつけて書いてあるもん。

——当時、東金高校生と交際できるのは、野球部員か、よほどカッコいい奴かでしたよね。

文通していると、だんだん逢

いたくなりすよね。で、1年目のオフだったかな、電話しようとしたんですが、掛けるまで2時間位かかりました。勇気が出なくて。

——同期の野球部員のお話では鈴木先輩はどちらかというの内気な方だったとお伺いしています。

野球では違った人間になれましたけど、そういうことはできなかったね。

5年つきあって23歳で結婚しました。合宿を出なくちゃいけない時期でしたから、どうせ決めた人がいるんならって。オヤジが反対してね、「同じ年は年取ってからよくない」って。で、会わしたら気に入ってくれた。それからトントン拍子でした。

【成高に行つて良かった】

——プロ時代に高校や郷里を思い出す機会はありましたでしょうか。

さっきの3ヶ月はもちろんですが、成高に進んだことが僕の人生を決めた大きなポイントでした。

成高に行かなかったら、まず松戸、永田、松井、長谷川の4師に出会ってないし、仲間と出会っていなかった。成東高校という一種独特な雰囲気の中で野球が出来たと言うことは、僕の大きな財産になっています。今でも胸を張って言えます。「成高に行つて良かった」って。

同期生は皆そう感じていると思いますよ、表だつて話す機会はなくともね。今でも、12人が離れていても年1回会つて、毎年同じ話題で大笑いしたりしてね。孫がいたりするんだけどね。

——現役の成高生にメッセージをいただけますか？

「文武両道」「質実剛健」は、時代によつて感じ方が違いますが、でも、成高を出てよかったという事は、後になって必ずわかります。これだけは、覚えていてもらいたい。

観桜会と総会のお誘い

例年、本校では四月の第一土曜日に、校内九十九本の桜を一般公開し観桜会を開催しております。同窓会の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



また同窓会総会は、毎年八月の第一日曜日です。還暦を迎えられた学年の方々には直接ご案内状を送らせて頂いています。今年度は昭和四九年卒業(高二六回、理数一回)の方にご案内します。当日、学年同窓会も企画しております。ふるってご参加ください。

詳細は本校のHPをご覧ください。

<http://cms2.chiba-c.ed.jp/narutou-h/>



鈴木氏在校当時の成高前坂

まさに「文武両道」!

——陸上部陶山雄太君、インターハイ8位

7月29日に和歌山で実施されたインターハイのハンマー投げで、本数理数科2年の陶山雄太(すやま・ゆうた)君が56メートル90を投げ、見事8位入賞を果たしました。



陸上競技における成高生のインターハイ入賞は、72年に林英昭選手(高25回・現専大松戸教諭)が同じハンマー投げで52メートル82の記録を出し3位入賞して以来、43年ぶりです。

陶山君は、陸上だけではなく、学業にも優れ、1年次の科目「情報」ではトップ、しかも、現在、出版委員長をとめているという、まさに文武両道の生徒です。

成高の歴代ベストを出した感想は?

入学した時にインターハイで優勝しますなんて大嘘こいちゃったんで、本当に2年で入賞できて、夢に手が届きそうになったんだって実感出来た時は、凄く嬉

高みを目指して

校長 猿渡末治



同窓会会員の皆様には、平素より母校の教育活動に格別の御配慮を賜りますことに、厚く御

礼申し上げます。平成二七年度の進学実績は、国公立大学のべ合格者五〇名(現役三六名)、私立大学五九六名(同四九四名)を数え、千葉大に一八名、国公立大医学部に三名など有名校へ進学しています。そして、平成二八年度入試も堅調に進んでおります。

これもひとえに同窓生の皆様への御支援の賜と感謝の気持ちでいっぱいです。さらなる高みを目指して、平成二八年度から単位制へと移行する本校に、変わらぬお力添えを賜りますよう、切にお願いいたしますとともに、着任して三年、これまでの皆様の御高配に深く感謝申し上げます。

しかつたです。

成高で陸上をする良さは? 施設が素晴らしいし、部活環境も最高です。

陸上を始めたきっかけは? 中学時代、パソコン部だったんですが、先生から投擲競技に誘われて……。

理数科を希望した理由は? 先生方から「お前、数学と理科が得意だから、頑張れば勉強で活躍できる」と言われて志望するようになりました。

陶山君は情報の成績が全校ダントツだけど、コンピュータに興味をもったのはいつから? パソコン自体は小6からですが、電子機器に興味をもったのはたしか2歳頃です。

えーっ?? 親がゲーム好きで、面白いなと……。

将来、陸上とコンピュータ、どっちに進みたいの?

自分でも迷ってるんですが、可能なら両立させたいです。

文武両道だね。君は、出版委員長で、文章も結構うまいんだけど、それはどこから??

自分では文才に自信はありませんが、陸上の練習以外は読書していることが多いので……。

同窓生にメッセージを。

インターハイ8位になれたのも、伝統ある成高の先輩方が築いてくださったものがあってこそ思っています。また、同窓会から関東、全国と大会出場の費用補助を頂いて、先輩の方々は心から感謝しています。

来年に向けて一言。

学力向上はもちろん、ハンマーも1位を取って他種目でも入賞したいなと思っています。前向きで質実剛健な陶山君に応援をよろしくお願いします。

写真部も元気です!

3年連続関東コンクールへ

本校文化部の中でも長い伝統を誇る写真部は、今も健在です。特にここ数年、女子部員が激増し、平成25年から連続して千葉県合同写真展に入賞し、関東地区写真展に千葉県代表となっています。



伊藤悠華「シャボンに夢をあずけて」

今年、理数科3年伊藤悠華さんが「シャボンに夢をあずけて」で金賞、普通科1年、鈴木芸弓さんが、「夢は叶うんだ!」で銀賞を受賞し、千葉県代表となりました。伊藤さんの作品は、「夢」という課題を具体的に表現するため写真部の友人とシャボン玉を素材にしたとのこと。バックフラッシュでブラックアウトした横顔とシャボン玉に映り込んだモデルの正面像が印象的な作品ですが、「顔が映り込んだのは偶然」と恥ずかしそうに答えてくれました。

NIKON D3S
70-200mm(122mm)、
1/200、f3.2、ISO200、
マニュアル露出、
マルチパターン測光